

GAMBERO ROSSO®

ガンベロ ロッソ 2024



trebicchieri

最高評価

トレビッキエーリ 3グラス獲得!



アリアーニコ コンタド リゼルヴァ 2019
Aglianico Contado Riserva

アレッシオが造りたいアリアーニコは、柔らかく、エレガントで繊細さを持つワインです。良いワインである程、コストパフォーマンスが高くなければならないというノランテの哲学を体現しています。ステンレスタンクで発酵させます。適度な酸が必要なので、マセラシオンは長めに1ヶ月行います。オーク樽（新樽でない）で12ヶ月熟成させます。深みのあるルビーレッド、すみれやプラム、チョコレートやスパイスの香りも感じられます。とてもなめらかで深みのある味わいです。

★「ガンベロ ロッソ 2024」トレビッキエーリ

【赤・フルボディ】 <Alc.14.5%> 国/地域等：イタリア/モリーゼ/D.O.C.

生産者：ディ マーヨ ノランテ 葡萄品種：アリアーニコ 100%

熟成：オークの樽で12ヶ月

品番：I-208/JAN：4935919052085/容量：750ml

¥3,850(本体価格¥3,500)

※ヴィンテージ、価格など記載されている情報は2025年1月時点のものです。

アリアーニコで造る ディ マーヨ ノランテの最上級ワイン

在庫が残り僅かとなりました。この機会をお見逃しなく。

サッシウス アリアーニコ デル モリーゼ リゼルヴァ 2015 Sassius Aglianico del Molise Riserva

50本限り

ケース単位(6本)に限り
木箱で発送

「サッシウス」は、古代ローマ時代にこの地を統治していたサムニウム人、クイントゥス スティリウス サッシウスという人物に由来する名前です。彼が統治していたエリアには、現在のディ マーヨ ノランテが所有する葡萄畑やワイナリーがある土地が含まれていました。モリーゼは古代ローマ時代から葡萄栽培が行われてきた、歴史的なエリアであることがこのワイン名によって表現されています。ブラックベリーやカシス、スパイスのアロマ、集約がありシルクのようにしなやかな口当たりがあります。タンニンはこなれておりエレガントなテクスチャがあります。アルコール発酵後、フレンチオークのバリック（新樽）で24ヶ月熟成、さらにボトルで6ヶ月熟成させます。



★「ビベンダ 2022」5房 ★「ルカ マローニ 2023」96点

【赤・フルボディ】 <Alc.15.5%> 国/地域等：イタリア/モリーゼ/D.O.C.
生産者：ディ マーヨ ノランテ 葡萄品種：アリアーニコ 100%
熟成：バリックで24ヶ月 有機認証：ユーロリーフ
品番：I-976/JAN：4935919319768/容量：750ml



¥10,450(本体価格¥9,500)

DI MAJO NORANTE



— ディ マーヨ ノランテ —

ディ マーヨ ノランテは、モリーゼ東部のカンボパッソ内、カンボマリーノ地区で19世紀初頭からワイン造りを行なって来ました。モリーゼは紀元前のころから、サムニウム人などによって葡萄栽培が行われてきた歴史的な地域ですが、生産されるワインの多くは地元消費が中心的で、日常消費用のワイン生産地域として知られています。イタリア20州の中でも最も知名度の低い州、と言われるほどですが、そんなモリーゼで世界の名だたるワインに比肩するようなワインを生み出しているのがディ マーヨ ノランテです。ヒュー ジョンソンの『ポケット ワイン ブック 2022』では、「もっともよく知られているモリーゼの生産者」と記されています。また、ヒュー ジョンソンとジャンシス ロビンソンの共著『世界のワイン図鑑 第8版』では「アリアニコはアドリア海沿岸の無名なDOCモリーゼでも生育されており、ディ・マーヨ・ノランテ社が傑出した仕事をしている。この有機農法の醸造家はモンテプルチャーノ・ダブルッツォ種やファランギーナ種も栽培している」と紹介されています。日本においても同じく様々なワイン雑誌などで取り上げられていますが、2022年に発刊された『本間チヨースケ超厳選。飲むべきイタリアワイン103本!』でも「そんなモリーゼ州にあって例えばトスカーナ州やピエモンテ州の銘醸蔵と対等に渡り合えるワイナリーはディ・マーヨ・ノランテ社のみである」と記されています。

